



# 市政羅針盤

染谷絹代市長が自ら、市政運営の方針を分かりやすくお伝えします。☎秘書課 ☎36-7117

今月のテーマ 令和4年度 市民意識調査の結果について

## ■ 調査の目的と実施方法

市は毎年、市民の皆さんから市政や暮らしに関する意識や意見をお聴きし、市政運営に活かすため、市民意識調査を実施しています。市民生活の現状・市民の行政に対する要望・市政に対する評価の実態・市民のまちづくりに対する意識などを的確に把握し、行政運営などに反映させるための基礎資料となる調査です。今回は、今年度の調査結果についてご報告します。

調査は、今年6月市内在住の18歳以上の男女2,500人を対象に実施。有効回収数は、1,258票（回収率50.3%）となっています。

## ■ 島田市での暮らしを尋ねると

島田市の住み心地について、88.8%の人が「住みよい」と回答しています。掛川市や焼津市の同様の設問と比較しても10～20ポイント高い結果です。自然豊かで、発災時などにはみんなで協力する地域のつながりが生きていること、市民性が穏やかで温かいこと、東海道本線・空港・東名・新東名・国道1号など、県内有数の交通結節点であることなどが、その理由に挙げられると思います。

関連して、島田市への定住意向も質問していますが、78.6%が「これからも島田市に住み続けたい」と回答しています。市外・県外に移り住みたいと回答した人は4.9%でした。市に対する好感度については、77.9%が「島田市のことが好き」と回答しています。前回調査（73.7%）と比べても4.2ポイント高く、コロナ下で変容した人々の価値観や意識が、島田市を見直すきっかけになっているように感じました。

## ■ 市の取り組みに対する満足度と重要性

満足度第1位は、10年連続で「ごみ・リサイクル対策」でした。先月号の市政羅針盤にも書きましたが、分別が少なくごみ出しが便利である反面、ごみ排出量の削減が進まないという裏腹の課題があります。今年度は、ワークショップなどを開催し、ごみ排出量削減のための具体策を市民の皆さんと一緒に検討してまいります。満足度第2位は「健康の増進」、第3位は「水資源・水環境の保全」となっています。

市民が考える重要度1位は、10年連続「医療の充実」です。今後、どのようなまちを目指したらよいかという設問にも52.4%の人が「医療が充実したまち」と回答しまし

た。島田市立総合医療センターが昨年5月にオープンし、常勤医師も100人を超え、皆さんの安全安心の拠りどころとなる病院整備が進みました。病院駐車場整備や交差点改良（病院へ入る右折レーンなど）がほぼ完了し、新病院玄関に最も近い駐車場をご利用いただけるようになりました。その他、重要度第2位は「ごみ・リサイクル対策」、第3位は「水害など災害に強いまちづくり」となっています。



島田市立総合医療センターの外観

## ■ 今後の市政の取り組みに向けて

今年度調査において市民満足度が比較的低く、施策としては重要度が高い、つまり、今後「重点的に取り組むべき課題」として、①雇用の確保・創出 ②魅力ある商店街づくりなどの商業振興 ③農林業の振興（生産基盤の整備・後継者育成）④再生可能エネルギー活用などによる地球環境の保全 ⑤安心して暮らせる居住環境の整備 ⑥主要な道路の整備 ⑦公共交通機関の充実 ⑧市の財政の健全運営が挙げられました。どれも市民生活に関わる重要な課題であり、総合計画や実施計画にこれらへの対応を盛り込んでまいります。

その他、今年の調査結果で特徴的だったのは、浜岡原子力発電所について「再稼働してもよい」（46.0%）が「再稼働すべきでない」（34.8%）を上回り、掛川市・菊川市・牧之原市と同様の傾向が見られたことでした。

また「現在、あなたはどれくらい幸せですか」の質問について10点満点で点数をつけてもらったところ、平均7.0点（全国平均6.4点）となり、過去最高となりました。自身の幸福感を「平均以上」と回答した人は全体の67.2%。一方で、あまり幸福感を感じられない（4点以下）と回答した方は8.2%いました。

幸せであるために重要な事項については、上位から「健康状況」「家計の状況」「家族関係」「精神的なゆとり」「自由な時間」などという結果でした。コロナ下で家族のあり方や働き方などが見直され、身近な幸せを実感した人が多かったのではと拝察します。

調査の詳細は、市ホームページに掲載しています。右のQRからご覧ください。

